

プレスリリース

2020年3月23日
国境なき医師団 (MSF)

国境なき医師団日本の新会長に、久留宮隆医師が就任

特定非営利活動法人 国境なき医師団 (MSF) 日本は、2020年3月21日に開催した年次総会で、久留宮隆 (くるみや・たかし) 医師を新会長に選任し、同医師は3月25日付で会長に就任する。2015年から会長を務めた加藤寛幸医師は任期満了によって3月24日付で退任する。

久留宮は、消化器外科の専門医。2004年にMSFに参加し、これまで12カ国で15回の医療・人道援助活動に派遣された。またMSF日本理事 (2006年～2012年、2017年～)、および同副会長 (2018年～) を務め、加藤前会長とともに日本におけるMSFの活動を牽引してきた。医師としての豊富な経験と実績をもとに、今後もMSF日本の成長、ならびに国際的ネットワークであるMSFの活動に対する日本からの貢献拡大に取り組んでいく。

就任にあたり久留宮は、「現在、世界中で新型コロナウイルスが猛威を奮い、多くの国々が対応に追われています。一方、紛争地では患者や医療者が攻撃を受け、難民・移民は排他的な政策によって行き場を失うなど、人道主義が脅かされる状況が今なお続いています。こうした人道危機を現場で目撃している組織の代表として、私は、多くの日本の皆さまにも現状に目を向けて頂き、傷ついた人びとに対して、私たち一人ひとりが何をできるのか、ともに考えていく努力を続けていきたい」と抱負を述べている。

<国境なき医師団 (MSF) 日本について>

非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体。世界38拠点に事務局をもち、そのうちの1つであるMSF日本は、日本から医療援助活動に参加する人材の採用・派遣、現地の人道危機や医療ニーズを伝える証言・広報活動、現地医療活動を支える資金調達などを行う。1992年に設立され、東京都から認定特定非営利活動法人 (認定NPO法人) の認定を受けている。

久留宮隆会長ポートレート写真ダウンロードリンク <https://bit.ly/39dqe9T>


以上

本件に関するお問い合わせ先 :

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当 : 那須 眞澄・舘 俊平

TEL : 03-5286-6141 FAX : 03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント : @MSFJ_Press

<略歴>

国境なき医師団 (MSF) 日本

会長 外科医

久留宮 隆 (くるみや・たかし)



愛知県立旭丘高等学校卒業。1984年、三重大学医学部を卒業後、同年4月より三重大学医学部第一外科入局。三重県を中心に地域中核病院での外科に勤務し、済生会松阪総合病院にて手術室部長を務めるなどした。その後、あいち肝胆膵消化器クリニック診療部長、地方独立行政法人桑名東医療センター手術室部長、三重北医療センターいなべ総合病院救急総合診療部長を歴任し、現在、三重県津市の永井病院において救急を担当している。

2004年よりMSFの活動に参加。2006年から2012年、および2017年からMSF日本理事、2018年よりMSF日本副会長を務める。2020年3月より現職。著書に『国境なき医師が行く』（岩波ジュニア新書）。1959年2月17日生まれ。愛知県名古屋市出身。

MSF 活動歴

2004年5～8月	リベリア・モンロビア
2004年10～12月	シエラレオネ・マグブラカ
2009年1～3月	ナイジェリア・ポートハーコート
2009年8～10月	スリランカ・マニクファーム
2010年11月～12月	イエメン・ハミール
2011年3月	日本・宮城県（東日本大震災緊急援助）
2011年11月～2012年1月	パキスタン・ティムルガラ
2012年9月～10月	ナイジェリア・ポートハーコート
2013年12月～2014年1月	シリア・アレッポ県
2014年10月～11月	中央アフリカ共和国・バンギ
2015年4月～5月	ネパール・バクタプル/アルガト
2015年11月～12月	コンゴ民主共和国・北キブ州ルチュル
2016年4月～5月	日本・熊本県（熊本地震緊急援助）
2018年7月～8月	イエメン・ハミール
2019年7月～8月	カメルーン・クンバ